

## インストール

<http://rina.jpn.ph/rance/index.php?Oracle10g%20Release2%20DBCA%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%81%AE%E4%BD%9C%E6%88%90%E6%89%8B%E9%A0%86>

1. インストーラを起動してインストール
2. 初期データベースの作成を行わない
3. それ以外の設定は必要に応じて変更
4. インストール後、リスナーの設定を行う

```
C:*\> lsnrctl start
```

## Enterprise Manager

[http://catseye.cocolog-nifty.com/nekome/2006/11/kuma\\_20.html](http://catseye.cocolog-nifty.com/nekome/2006/11/kuma_20.html)

EMを使用するには、以下のサービスが起動している必要がある。

```
Oracle DBConsole
```

```
>emctl status dbconsole
```

で と表示される場合は、正常に起動していない。

正常に動いていない場合は

```
>emctl start dbconsole
```

で起動してみる。だめなら

```
>set oracle_sid=XXXXX(SID)
>emca -deconfig dbcontrol db
(SIDを聞かれます 入力し、'y')
>emca -config dbcontrol db
(SID、リスナーのポート、SYSのパスワード等を聞かれます 入力し、'y')
```

暫くすれば、DBConsoleは正常に起動する(している)筈です。

(emctl status dbconsoleで見ると、daemonがどーとか出ますが、、、EMは使えます)

その後、

```
>emctl secure dbconsole
```

でDBConsoleをセキュア化する等の再設定を行います。

(SYSとOSのパスワード、ホスト名等を聞かれます)